

自動包装機の導入による生産革新及び洋菓子の宅配事業

概要

自動包装機の導入による、大幅な作業時間の短縮。短縮された時間を活用した、洋菓子の宅配事業による新規顧客層の開拓及び洋菓子の宅配事業に向けた新商品開発。

取り組みのきっかけ

昭和45年より地元で愛される洋菓子屋として営業。新商品の開発、喫茶コーナーの設置などの工夫を継続した結果、食べログにおける三重県ケーキ人気ランキングTOP5（平成28年3月7日現在）に入る認知度を得るに至っている。この状態のもと、更に売上及び経常利益の革新的な向上を図るためには、新サービスである洋菓子の宅配事業を行う必要があり、その時間確保のためには焼き菓子包装作業及びシールの貼付作業の効率化が必要との流れから、本自動包装機導入検討となった。

〈カフェ併設店舗全景〉



取り組みの目標

自動包装機の導入により、現在の手作業による包装及びシールの貼付に要する時間から60%程度の効率アップをはかる。この自動包装機は、同規模の会社（洋菓子店）において導入率はあまり高くないため同業他社に対して、生産効率の部分において優位に立つことができる。

これにより削減された作業時間を利用して、洋菓子の宅配事業を行い、共働き家庭、高齢者、保育園・幼稚園・養護施設・障害者施設・老人ホーム等、新たな顧客をターゲットにすることにより、大幅な売上増加を目指す。

包装作業等の効率化により、焼き菓子の増産が可能となるため、休止中の焼き菓子のインターネット販売も再開、繁忙期の品切れの対策も可能となるため、年5%～10%の焼き菓子の売上増加を見込む。

取り組みの内容

自動包装機を平成28年11月に購入。納入業者より設備の使用についての講習を受講し機械の使用操作方法を習得し、生産性、効率性、品質についての評価を行った。

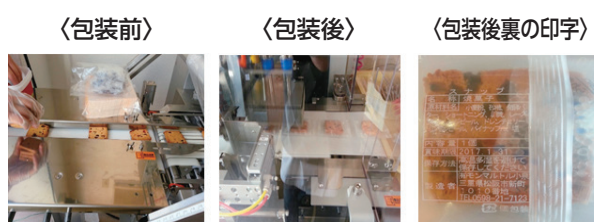
〔新設備の操作メンテナンスの説明〕



〈包装作業操作の説明〉

〈機械メンテナンスの説明〉

〔操作テストの結果〕



生産性、効率性、品質、ともに向上が確認できた。

取り組みの成果

自動包装機の導入における効果は、従来の手作業による包装及びシールの貼付に要する時間の60%程度の効率アップとなり表れている。

〈包装作業の時間及び作業個数の変化〉

	包装個数（一時間当たり）	平均的な一日の包装個数及び包装時間（延べ）
導入前	150 個	1650 個 延べ 11 時間
導入後	450 個	1650 個 延べ約 3.6 時間

上記の表のとおり、自動包装機の導入により、1日あたり7.4時間程度の包装作業時間を削減、新サービスに割り当てることが可能となった。

有限会社モンマルトル小泉

代表取締役 小泉 直也

所在地：三重県松阪市新町1010番地

連絡先：TEL 0598-21-7123 FAX 0598-21-7123

E-mail：info@1010banchi.co.jp

URL：https://1010banchi.co.jp

企業情報

従業員数：12 名

資本金：990 万円

業 種：飲料食品小売業

特 色：喫茶コーナーを併設し、イートイン・テイクアウト可能な地元で人気の洋菓子店。自社農場で材料となるブルーツ栽培も行う。

〔導入前と導入後の従業員の作業時間の変化〕

〈従業員A〉

	仕込み	仕上げ	包装	休憩	配達準備	配達	掃除
導入前	2 時間	3 時間	5.5 時間	1 時間	0	0	0.5 時間
導入後	2 時間	2 時間	0	1 時間	2 時間	4.5 時間	0.5 時間
削減時間	0	1 時間	5.5 時間	0	2 時間	4.5 時間	0
新作業時間					2 時間	4.5 時間	

〈従業員B〉

	仕込み	仕上げ	包装	休憩	新サービス補助	掃除
導入前	2 時間	3 時間	5.5 時間	1 時間	0	0.5 時間
導入後	2 時間	4 時間	3.6 時間	1 時間	0.9 時間	0.5 時間
削減時間	0		1.9 時間	0		0
新作業時間（宅配作業時間）		1 時間			0.9 時間	

1. 効率性

包装作業の効率が1時間当たり150個であったものが1時間当たり450個となり時間についても1日あたり、1LOT1,650個の製造では11時間が3.6時間と、7.4時間の削減が確認された。

2. 生産性

従業員Aの仕上げ・包装時間が6.5時間削減され宅配事業に使用可能であることが確認された。従業員Bについても同様に包装作業時間の1.9時間の削減が確認された。これにより生産性の向上につなげることが可能である。

3. 品質

焼き上がり状態、包装後についてチェックを行い品質の向上を確認した。

開発製品・技術等のアピール

これまで培ってきた知名度から、新顧客への販売増加は十分可能。また、体制整備のため月に一度、技術力・販売力の向上を目的とした全体ミーティングを行うなど、社員教育に注力している。

今後の展望

現在の経済状況及び社会状況から、共働き家庭、高齢者のみの家庭などの増加は確実であり、洋菓子の宅配サービスの需要は、増加していくと考えられる。

現在、営業地域において、同様のサービスを行っている同業他社は少なく、認知度を活かしながら、新規顧客を開拓していけば、革新的に売上及び経常利益を伸ばすことが出来ると考える。

また、新事業における効果と共に、焼き菓子を効率よく生産できる事により、インターネットでの販売も再開できる事及び繁忙期に品切れのため逃がしていた売上についても取り込むことが出来るなど、付随した効果も見込める。

実際に勤務時間の短縮を行い、働き方改革につながる効果、時間を活用した自社農園（ブルーベリー栽培など）展開の成果が表れている。

更に、既存従業員の賃上げ、新製品の開発による技術の向上、販売拡大のための新たな雇用の創出等の波及効果も見込め、これらのサービスにより、地域貢献の一貫に繋がるのではないかと考える。

〈焼き菓子の例〉



〈ブルーベリー農場〉

